

令和7年度 全国学力・学習状況調査、七宗町における調査結果の概要

七宗町教育委員会

1. 全国学力・学習状況調査とは

次の3つのことを目的として、全国一斉に行う調査です。

- ①義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ②学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ③このような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査方法や内容については、小学校6年生を対象に国語と算数と理科、中学校3年生を対象に国語と数学と理科について、「身に付けておかなければ、後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等」と「知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容」を一体的に問う問題で実施する。また、質問紙調査（学習意欲や生活の諸側面等に関する質問）を実施する。

2. 調査結果から

＜教科に関する調査結果より＞ <u>【良好であると分析される内容】</u> （小学校） 国語「時間的な順序や事柄の順序を 考えながら、内容の大体を捉える力」 算数「図形の領域に関する力」 「目的に応じて適切なグラフを選択し、 その理由を記述する力」 理科「全領域で全国の平均正答率より高い」 （中学校） 国語「内容のまとまりを意識して文章の 構成や展開を考える力」 数学「データ活用の領域に関する力」 「説明の場面において反例をあげる力」 理科「『地球』を柱とする領域に関する力」	<u>【課題であると分析される内容】</u> （小学校） 国語「情報の扱い方に関する事項の力」 「話すこと・聞くことの領域に関する力」 算数「変化と関係の領域に関する力」 「異分母の分数を計算する力」 理科「無解答率が、全国の割合より高いこと」 （中学校） 国語「記述式の問題に答える力」 数学「素数、多角形の外角を理解する力」 「図形の領域に関する力」 理科「回路の電流・電圧と抵抗や熱量に 関する知識・技能の力」	＜児童生徒質問紙に関する調査結果より＞ <u>【良好であると分析される項目】</u> （小・中学校）朝食を毎日食べていますか （小・中学校）いじめはどんな理由があってもいけないこと と思いますか （小・中学校）理科の勉強は好きですか （中学校）授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか （小学校）分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか <u>【これから伸ばしたい項目】</u> （中学校）ICTを活用した学習状況に関する項目 （小学校）自己有用感等に関する項目 （小・中学校）学校に行くのは楽しいと思いますか
--	---	--

3. 今後の取組について

上記の結果を踏まえ、以下のことに努めていきます。

- ◇七宗町が取り組んでいる「基礎学力定着事業」を継続して取り組み、「授業の充実」「学習習慣の定着」「生活習慣の定着」の3本柱について、学校と町教育委員会が一丸となって実践を重ね、深めていく。
- ◇学校(保育園)・家庭・地域が連携して、LSS(Life Study Support)を推進し、「生活・学習・支援」づくりを通じて、子どもたちを育てていく。
- ◇「一人一台タブレット」を活用した授業実践(デジタル教科書の活用)や家庭学習(持ち帰りタブレット)に取り組み、子どもたちの主体的な学びを充実させていく。